

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○浅野雅子 児玉壮志

【概 要】

精神障害に対する医療の歴史の変遷や障害の捉え方、精神障害領域におけるリハビリテーションの発展と作業療法が果たす機能と役割、作業療法を構成する治療構造などを踏まえ、評価から治療、援助へ至る一連の作業療法の流れを理論的に学習し理解を深める。また、主たる対象疾患の臨床像を理解し、各疾患における適切な作業療法の評価法や治療、指導、援助内容、実践領域や場について理解を深め、各対象疾患における作業療法の役割を考察する。

【学習目標】

《一般目標》

1. 精神領域におけるリハビリテーションをふまえ、その対象や作業療法の実践および過程を理解し、各疾患に対する作業療法に必要な知識と技術について理解を深める。

《行動目標》

1. 精神の病と障害の関連について説明することができる
2. 精神医療の歴史、精神障害のリハビリテーションと作業療法の発展について説明することができる
3. 精神障害領域における作業療法の機能と役割を理解し、評価から治療に至る流れについて説明することができる
4. 作業療法を構成する要素について述べるることができる
5. 病気の回復過程を理解し、回復状態に応じた作業療法の目的や役割を説明することができる
6. 精神障害作業療法の評価とは何かを理解し、説明することができる
7. 精神障害作業療法の計画・立案とは何かを理解し、説明することができる
8. 精神障害作業療法の実践領域や場について、その目的や役割を説明することができる
9. 各種疾患における作業療法評価や治療、指導、援助内容を説明することができる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	精神の病いと作業療法1	精神の病いの歴史	浅野雅子
2	精神の病いと作業療法2	精神科リハビリテーションの理念	浅野雅子
3	作業療法の基本的実践論1	作業療法の構造と実践形態（治療構造を含む）	浅野雅子
4	作業療法の基本的実践2	回復状態に応じたりハビリテーションと作業療法 精神科病床の機能分化と予防	浅野雅子
5	作業療法の基本的実践3 （課題提出）	提示した関連文献について、各自自己学習を行う	浅野雅子
6	作業療法の基本的実践4	対象関係ー治療・援助における関係	浅野雅子
7	作業療法の手順 （課題提出）	提示した関連文献について、各自自己学習を行う	浅野雅子
8	疾患・障害別作業療法の実際1	統合失調症の作業療法（急性期）	浅野雅子
9	疾患・障害別作業療法の実際2	統合失調症の作業療法（慢性期）	浅野雅子
10	疾患・障害別作業療法の実際3	神経症性障害の作業療法	浅野雅子
11	疾患・障害別作業療法の実際4	てんかんの作業療法	浅野雅子
12	疾患・障害別作業療法の実際5	気分障害の作業療法	児玉壮志
13	疾患・障害別作業療法の実際6	パーソナリティ障害の作業療法	児玉壮志
14	疾患・障害別作業療法の実際7	摂食障害の作業療法	浅野雅子
15	疾患・障害別作業療法の実際8	器質性障害（アルコール依存、精神作用物質など）の 作業療法	浅野雅子

【評価方法】

定期試験 100%

試験結果の詳細については適宜担当教員に確認すること。

【備 考】

- 教科書：山根寛 「精神障害と作業療法（新版）－病いを生きる、病いと生きる 精神認知系作業療法の理論と実践」 三輪書店 2017年
作業療法学全書 「作業治療学2精神障害（改訂第3版）」 共同医書出版 2010年
- 参考書：朝田隆 他 「精神疾患の理解精神科作業療法（第2版）」 中央法規 2012年
香山明美 他 「生活を支援する精神障害作業療法急性期から地域実践まで（第2版）」 医歯薬出版 2014年
長崎重信 監 「精神障害作業療法学（改訂第2版）」 メジカルビュー社 2015年
早坂友成 編 「精神科作業療法の理論と技術」 メジカルビュー社 2018年

【学習の準備】

2年次開講の「精神機能評価学」および「精神医学Ⅰ、Ⅱ」をふまえた授業となりますので、十分に内容を整理しておくこと。
また、事前学習と事後学習の探索・学習にそれぞれ80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

(DP4)リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士）、児玉壮志（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や地域での臨床経験を活かした講義を行う。